



まったく新しい“情報リテラシー”教材を全国の小学生へ！ タブレット型取材ゲームで学べる“授業パッケージ”を開発

現代を生きる子どもたちの前には情報が溢れ、フェイクニュースが社会を脅かす要因となるなど、これまでとは全く違う世界が広がっています。港区教育委員会は、日本テレビ放送網株式会社と協力し、子どもたちが「情報リテラシーの基礎」を楽しく学べる教材を開発しました。

本教材は日本全国の子どもたちの学びに活用してもらえるよう、全国の小学校、自治体、教育委員会を対象に無料で提供します（申込制）。

“情報リテラシー”教材 「あやしい情報に出会ったら どうしたらいい？ ～テレビ報道記者の仕事ヒントに考えてみよう～」

■教材内容

小学校の授業1時限(45分)で完結する
授業パッケージ

- ①授業進行用パワーポイント（動画付き）
- ②タブレット用オンラインゲーム
- ③学習指導案（港区教育委員会監修）



動画のナビゲーターは
水ト麻美アナウンサー
←



■対象

全国の小学校（公立私立問わず）、
自治体、教育委員会など

タブレットで記者体験 →

■授業を実践する際の推奨単元

- ・5年生社会科 情報に関する単元
- ・5年生、6年生 「総合的な学習の時間」 など

■利用申込開始時期

2024年6月初旬(予定)

※詳細は後日、日本テレビ放送網株式会社公式ホームページ（下記URL）にて公開

<https://www.ntv.co.jp/medialiteracy/>



港区内の小学校でテスト授業を実施し、子どもたちに体験してもらいながら改良を重ねました。